

JA越谷市自己改革進捗状況について

長期ビジョン	創造的自己改革への挑戦 農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くす
平成30年度の成果目標	販売品取扱高 7億4,328万円(H27) → 7億7,000万円(H30) (うち直売所 2億6,143万円(H27) → 2億7,500万円(H30))
主な成果指標 (平成30年度)	実践項目(平成29年度)
多様な担い手と地域に根ざした生産販売戦略の実践	
<共通目標> 販売品取扱高の拡大 <重点施策> 低コスト生産技術の核に津・普及	① 一発型肥料供給数量 3,857袋 ② 水稻新技術栽培 密苗栽培<栽培面積1.5ha> ③ 農薬大規模企画取扱開始<水稻除草剤 50kg規格> ④ 小松菜段ボールの他JAとの規格統一 ⑤ 体系型肥料品目集約によるコスト低減への取り組み 4,032袋 ⑥ 土壌診断実施<45検体> ⑦ JA米の買取販売の強化 <買取数(30kg/袋)> JA米(コシヒカリ) 607袋 JA米(彩のきずな) 17袋 特別栽培米(コシヒカリ) 100袋 越谷ふるさと米(コシヒカリ) 534袋 (環境保全米) JA米(彩のかがやき) 609袋 越谷ふるさと米(環境保全米)の買取販売の強化 JA米の販売経路については、直売所販売・職員による販売促進運動、法人イベントへの提供。また、観光協会の協力による予約受注対応。
農産物・農産加工品の安全確保対策	
<共通目標> 販売品取扱高の拡大 <個別目標> 残留農薬検査年間24検体	① 園芸部GAP(農業生産工程管理)研修会開催 ② 小松菜目揃え会・くわい目揃え会 ③ 加工食品表示に関する講習会 ④ 直売所受託農産品生産履歴記録簿100%回収 ⑤ 学校給食等食材供給 12品目 ⑥ レイクタウンにて越谷ふるさと米(環境保全米)PR活動 ⑦ 残留農薬民間検査機関との委託契約締結(2検体/月) 24検体実施
水田農業(米)の確立	
<共通目標> 販売品取扱高の拡大 <個別目標> 米穀生産の維持・拡大	① 飼料用米作付面積 18.08ha 集荷数量 3,008袋 ② 公益社団法人埼玉県農林公社農地中間管理事業業務委託契約により越谷市船渡地区の農地中間管理事業を進行中。 船渡地区より借受農地圃場面積 18.77ha 耕作担い手人数 16名
野菜等園芸作物の生産振興	
<共通目標> 販売品取扱高の拡大 <個別目標> 特産農産物の作付拡大	① 小松菜からケール・サニーレタスへの作付品目転換 1法人 ② グリーン・マルシェ1号店・2号店にて消費者と生産者との交流イベントを開催 越谷市民まつり農業者団体参加:市民パレード・地場産農産物を生産者と共にPRを実施